

## PRESS RELEASE

東海道五十三次 27番目の宿場



令和8年1月23日  
袋井市長定例記者会見資料  
企画部デジタル政策課・産業部農政課

2961スマート農業プロジェクト シンポジウム  
「デジタルと共に創で 今から始めるスマート農業」  
～スマート農業を身近なところから始める～

- ◇ 「2961（フクロイ）スマート農業プロジェクト」（2025年度総務省補助事業）では、無線通信やセンサー技術の活用とともに、リビングラボ手法を用いて、多様なステークホルダーの協働による、地域の農業の課題解決に向けた取組を進めている。
- ◇ この度、名古屋大学未来社会創造機構の荒木 克彦（あらき かつひこ）客員教授を講師に招き、基調講演やスマート農業の実践者や若手ＩＴ起業家を交えたパネルディスカッションを行うシンポジウムを開催する。
- ◇ 「身近なところから始めるスマート農業」をテーマに、データやAIなどの活用によって効率化や高品質化につなげる身近な事例や実践方法（水位センサーによる田んぼの水位監視、カメラを使用した茶や葉物の生育監視に加えアプリでの作業管理、ドローン利用など）を深掘りし、地域におけるスマート農業の普及に向け農業関係者や農業に関心がある方の連携強化を図る。

## 【概要】

- 1 開催日時 2026年1月28日(水) 14:00～16:30
- 2 会場 袋井市新産業会館キラット2階あきはホール(袋井市高尾1129-1)
- 3 対象 農業関係者、農業やまちづくり、デジタル活用に関心がある方
- 4 定員 70名 ※先着順
- 5 申込期限 1月27日(火)
- 6 参加費 無料
- 7 プログラム

【大和コンピューター HPより】



時間	内容	講師・パネリスト
13:30	開始	
14:00	開会挨拶、主旨説明	
14:10	基調講演 DIYで始めるスマート農業 ～データ活用とAIが変える現場～	荒木 克彦（あらき かつひこ） 名古屋大学 未来社会創造機構モビリティ社会研究所 客員教授 総務省 地域情報化アドバイザー
	休憩	
14:50	パネルディスカッション 地域で広げる未来の農業のカタチ 第1部：身近な事例を学ぼう 第2部：今すぐにできることを始めよう	【進行役】 株式会社トウモローズ 代表取締役 堀 明人 【パネラー】 市内農業者、市内若手起業家、スマート農業事業者
16:20	閉会	

## 【お問い合わせ先】

袋井市 企画部 デジタル政策課 DX 推進室（担当：久保田）

電話：0538-44-3106 FAX：0538-43-2132 メール：jouhou@city.fukuroi.shizuoka.jp

# デジタルと共に創で 今から始めるスマート農業



袋井市では、リビングラボの手法を用いた官民共創の取組を進めています。農業分野でのデジタル活用が広がる中、私たちの身近なところから始められる取組もたくさんあります。そして、新しいアイデアは、人と人とのつながりから生まれます。そんな、"未来の農業のカタチ"を考える公開イベントです。

農業関係者はもちろん、デジタル活用に興味のある方、まちづくりに関心のある方まで、どなたでもご参加いただけます。

# 2026.1/28 水

受付13:30 開演14:00 終了16:30(予定)

会場 袋井新産業会館キラット 2F あきはホール  
(袋井市高尾1129-1)

対象者 農業関係者、農業やまちづくり、  
デジタル活用に関心がある方

参加費 無料 定員 70名

## プログラム

14:00	開会挨拶、趣旨説明
14:10	基調講演 <b>DIYで始めるスマート農業 ～データ活用とAIが変える現場～</b>
	 【講師】 名古屋大学 未来社会創造機構 モビリティ社会研究所 客員教授 総務省 地域情報化アドバイザー 荒木克彦氏
14:50	休憩
	パネルディスカッション 地域で広げる未来の農業のカタチ 第1部：身近な事例を学ぼう 第2部：今すぐにできることを始めよう 【進行役】株式会社トゥモローズ 代表取締役 堀 明人 【パネラー】市内農業者、市内若手起業家、スマート農業事業者
16:20	総括、閉会挨拶

申込方法 右記二次元バーコードを読み込んでいただき、お申し込みください。



お問い合わせ

袋井市デジタル政策課 tel.0538-44-3106